

14 静岡オーガニック抹茶株式会社

グローバルビジネス対応 高品質有機抹茶生産管理システムの構築

具体的な事業内容

有機茶の生産および有機抹茶の加工販売を主たる業務としている静岡オーガニック抹茶株式会社。海外での需要が増加しているオーガニック抹茶の輸出増に対応するべく、様々なデータ管理を一元化するため、新たな生産管理システムを導入するに至った。



会社概要

- 社 名：静岡オーガニック抹茶株式会社
- 代表者名：代表取締役 杉谷 道也
- 所 在 地：〒428-0417
榛原郡川根本町青部 54 番地の 1
- 取 材 地：所在地に同じ
- 設立年月：平成 30 年 4 月
- 業 種：有機茶の生産および有機抹茶の加工販売
- 資 本 金：25,000 千円
- T E L：0547-58-2777
- U R L：https://soma-japan.co.jp/



取組みの経緯

海外需要が増加
オーガニック抹茶の管理体制構築



取材に応じてくれた杉谷代表取締役

静岡オーガニック抹茶株式会社は、お茶の輸出拡大に取り組み複数の茶商と有機栽培茶を生産する複数の農家組織の共同出資により平成 30 年に設立された。世界的に、オーガニック食品の機能性（免疫力向上効果等）や、食品の衛生管理に対する意識が高まっている。オーガニック抹茶の製造を主たる事業としている同社にとっては、抹茶の免疫力向上及び美容健康効果などの様々な効能や、抹茶の美味しさ、香り、色彩など日本特有の食文化の魅力を世界に発信するチャンスとなっている。

同社でも海外展開を進めていたが、データ管理関係の業務が一元化されておらず、特定の職員にかかる負担が大きくなり、製造・出荷指示等のミスが生じるなど、受注拡大に向けて生産体制に不安を抱えていた。

海外顧客のニーズに応えつつ、抹茶の原料となる茶葉の品質を保持し続けるため、上記の課題の解決に取り組むこととなった。

取組みの内容

システムの新規導入による
データ管理の効率化



同社のオーガニック抹茶

常に変化する市場ニーズに対応し、スピーディーに海外輸出力の高い商品開発が求められる中で、徹底したデータ分析に裏付けされたオーガニック商品は大きなアドバンテージとなる。しかし、同社では、残留農薬分析、細菌数管理、有機栽培データ管理、在庫管理、圃場管理・トレーサビリティ、国際認証、お茶の色／味の解析データ、工場の衛生管理といった多くのデータ管理体制が確立されておらず、その優位性を発揮することができなかった。

さらに、これまではこれらのデータ管理が複数の Excel ファイルによって別々に管理されており、またそのデータを一人の従業員が管理していたことから、農薬検査、出荷等の多くの業務でエラーが生じやすい状況になっていた。

これらの課題を解決するために、マンパワーでは対応できない膨大な分析データを蓄積し、商品の一元管理を可能にするシステムを導入することにより、データ管理の効率化、生産計画の実現性等の向上を目指すこととなった。

結 果

効率的な生産管理体制の確立
さらなる事業展開への着手



導入した生産管理システム

オーガニック抹茶生産に関する一連のデータを一括して管理するため、新たな生産管理システムを導入した。これにより、茶の生産から販売までのデータを単一のシステムでの一元管理が可能となった。これにより全てのデータをリアルタイムに把握できるようになり、安定した茶葉の生産が実現。商品に対する信頼性が増し、事務作業員の負担が軽減した。

また、有機栽培に実績のある農家からの有機茶を安定的かつ継続的に購入する体制を確立したことで、客先の要望にも十分応えることができる、川根本町産の有機茶による純粋なオーガニック抹茶の新商品開発に成功した。

同社事業は、静岡県より地域経済牽引事業計画に認定されている。代表取締役の杉谷氏は、「グローバルに展開するオーガニック抹茶の産地を形成し、地場産業として確立する責務がある」と語った。現在はコロナ禍でありながらも安定して製品需要が伸び続けており、新たな事業拡大も見込んでいるという。世界に向けて抹茶の魅力を発信する同社の今後に引き続き注目したい。